

公開講座のお知らせ

日本が世界に誇るモーツァルト研究の第一人者、海老澤敏先生をお招きして、下記の通り公開講座を開催いたします。貴重な機会ですので、皆様ふるってご参加下さい。

演題：ルソー生誕 300 年の年に

—音楽家ルソー登場・モーツァルトとともに—

えびさわ びん
講師：海老澤 敏 先生

日時：2012 年 9 月 28 日(金)18:30～20:00

場所：広島大学 F 棟 101 室(音楽棟・演奏室)

講演概要：

今年、スイスのジュネーヴで生まれ、18 世紀思想界、そして教育思想史にもまこと重要な影響を及ぼしたジャン=ジャック・ルソーの生誕 300 年に当たります。そのルソーが当時および後代の音楽思想、音楽教育史にもユニークで注目すべき刻印を残したことは、とりわけ日本では未だにほとんど知られていません。私が主宰する日本モーツァルト研究所が企画し実現した二つの演奏会の録画をご紹介します。ルソーの音楽家、そして音楽思想家としての側面を同じく 18 世紀の奇蹟ヴォルフガング・アマデーウス・モーツァルトとの関係にも触れつつお話しいたしましょう。

海老澤 敏

講師略歴



東京大学文学部美学美術史学科卒業、同大学院人文科学研究科美学専攻修士課程修了。仏政府給費留学生として滞仏。現在、尚美学園大学大学院特別専任教授、日本モーツァルト研究所所長、ザルツブルク国際モーツァルテウム財団名誉財団員、同財団モーツァルト研究所所員、ボローニャ王立音楽アカデミー名誉会員。文化功労者。元国立音楽大学学長・理事長・学園長・前新国立劇場副理事長、前新国立劇場オペラ研修所所長。芸術選奨文部大臣賞、紫綬褒章、オーストリア共和国有功勳章学術・芸術第一等十字章、仏政府学術功労勳章および芸術文化勳章オフィシエ他、受賞（章）多数。モーツァルト、ルソーに関する著書・訳書多数。

入場無料